

コモンズとは…労働者農民市民が協働して、国家と私を超えた自治と生産の共同の場を、共につくり合うこと



■発行所/コモンズ
 ■編集機関紙局/東京都中野区新井2-7-12-25号
 コモンズ政策研究機構内
 ■電話:03-3389-0411 Fax:03-3389-8573
 ■編集/革命21
 ■The Communist Association for Revolution Movement 21
 ■郵送購読料/1部500円 半年2500円(1年5000円)
 ■郵便振替口座/00100-5-391171(コモンズ政策研究機構)
 ■ウェブサイト:http://www.com21.jp
 ■Eメール:rev@com21.jp

岸田政権の対米隷従の「戦争国家」阻止への正念場

気候危機、コロナ禍、ウクライナ戦争が物価高とエネルギー・食糧危機をもたらし、「暖房を入れるか、食べるか」(ヒート・オア・イート)の言葉に象徴される生活苦・生存の危機が世界の貧困層に広がっています。日本でも新年、インフル・コロナの2重感染拡大の「第8波」が拡がり、政府の無策ゆえの死者数が過去最多となり、そこに食品値上げラッシュの「第2波」が襲い、「子どもの食事まで減らし暖房を切つても、もう無理!」の悲鳴が社会の隅々からあがっています。岸田政権はこの悲鳴を聞く耳を持たず、今後5年間で43兆円もの大軍拡を決め、戦後の平和主義を投げ捨て、中国など隣国を敵視して、沖縄・南西諸島、本土を戦場と化すアメリカの対中戦争に追随し、この国を侵略と殺戮の「戦争国家」に変えようとしています。歴史の大転換に際し、ここが分岐点という時機がある。新年は、日本列島に暮らす全てにとって、次世代の未来の運命をも左右するような分岐点、正念場です。まだ間に合います。暮らしか働く場、地域から、立ち上がり、岸田政権の戦争準備を阻止しよう。わたしたちは渾身の力で闘う決意をもって、新年の挨拶を送ります。

世界はどこに向かっているか 新たな戦争と人類の生存危機の時代

年頭にあたり、わたしたちはいて、はつきりとさせておきたい。何がかなる時代認識に立ち、何をめざして闘うかについて、

第1、時代認識について。
 コロナ・パンデミックとインフラ戦争は、資本主義の終わりと人類が新たな戦争と生存の危機の時代に入ったことを可視化した。

アメリカは日本を守らない!!

沖縄と結び 日米安保条約破棄を 東アジアの民衆と共に平和の道へ

年頭のあいさつ

関生再生委員会代表 武建一
 近畿労働者協同組合理事長

時代は階級的労働運動を求めている

昨年はロシアによるウクライナ侵攻により、多くの人々が戦争によって命を落とし、家を失っています。戦争は心身を痛めておられます。ウクライナ、シリア、中東、南アフリカ等に於ける戦争(内戦)が一日も早く終わる、平和な日々が送れるよう、私たちが活動を強めていく必要

戦争(内戦)は、誰が何の目的で行われるのか、考えなければ問題解決に至りません。戦争を仕掛け実行しているのは政治家であり、その国を支配している資本家、軍人などの一部の特権階級です。それは何故か。その特権階級の利権を守る発展させるためです。特権階級は「国民の生命財

ウイグル脅威の根本的原因は、無限の利潤を求め暴走する資本主義が地球の自然環境を破壊し、野生動物と人間の境界を破壊した結果である。イラン戦争の本質は、戦後世界の極端な米国の衰退に象徴されるように、資本主義が暴走の果てに終わりを迎える、新自由主義の米・欧・日など後進の中・ロ・中・国家資本主義双方の軍産複合体・独占資本の生き残り争いをかけた市場分割戦・覇権争いである。世界は、ユーラシア大陸の西端においてロシアがウクライナ侵攻を米欧の東方拡大を武力で阻止し、東端の東アジアでは軍事大国となった中国を封じ込めるために、その「台湾統一」を口実に米国が対中戦争戦略に舵を切り、前例のない対中半導体規制をかけた。インド・太平洋諸国を巻き込

待ったなしの新たな主体形成 生命中心の人類文明への大転換を

第2に、新たな主体形成について。重要なのは、もしも暴走する資本主義を倒すことができないなら、人類とその文明は資本主義の終焉に伴う地獄への道づれとなり兵隊する

日本に對中戦争の最前線を強いる 日米安保関係の見直しを

第3に、闘いの主たる政治方向・課題について。
 新年の焦眉の課題は、米国の対中戦争の最前線を担うべく、戦後の「専守防衛」を投げ捨て、米軍指揮下で日米一体の「敵基地攻撃」を可能とし、沖縄・南西諸島をミサイル攻撃の軍事拠点とし、戦場と化す。岸田政権の「戦争国家」への大軍拡・大増税を阻止する必要がある。

重要なのはアメリカは「日本を守らない」ということであり、米バイデン政権は「日本に對中戦争の最前線を強いる」ことをめざしている。米国の動向こそが、日本にとっての安全保障上のリスクである。同時に米帝の衰退は、戦後日本の安保条約が平和憲法の上で超法規的に位置し、沖縄への米軍基地の負担を強いる歴史的「構造的差別」を存続させ、米国に隷従する関係を

新年の闘いは始まった 大きな連帯と共同めざして闘おう!

1月13日、岸田首相が閣議決定を一手に押し進め、米大統領との日米首脳会談に臨み、首脳会談は日米同盟の「戦争同盟」への強化を宣言する。

他方で年末年始、識者から「辺野古新基地断念を求める請願署名を!」(4面参照)

(編集委員 生田あひ)

時代は階級的労働運動を求めている

近畿労働者協同組合を発足

（面左より）
安倍政権下においてなされた関係支部への弾圧は産業別労働運動解体を支那丸ごと解体する狙いで、賃金・雇用・福祉・人権擁護が産業別に保障され、ゼネコンやセメントメーカーなどの大企業の収奪と闘う体制が大坂、兵庫から和歌山、奈良、京都、滋賀へと拡がり、近畿2府4県327社との協力共闘体制の前進を恐れた攻撃であり、この行政権力の圧力に屈服した裁判所の判断によるもの。

反弾圧の闘いは、冤罪人権擁護等と闘っている全国の仲間と共有して国民運動に発展させ、この弾圧に加担している大阪府域生コン協同組合、その背後から支援しているセメントメーカーなどを追求する運動が勝利の道であり。

生コン業界に働く仲間の賃金・労働条件改善の闘いとは、関係支部が掲げてきた中小企業との一面闘争・一面共闘路線を堅持して、大企業の収奪と闘う中小企業との協力関係を発展させる闘いである。

食料安保論の落とし穴

大野和興（農業ジャーナリスト・日刊ペリダ編集長）



農業・食料問題の分野でも国家主義が押し寄せている。この分野で活動しているものについていま最も緊急な課題は、この動きにどう対峙するかということだと考えている。

「ここには第二の沖縄戦がある。この流れに無批判に乗っかっていくのか、そんな疑問をかねがねもっている。

いまこの国は、ウクライナ・台湾海峡問題を巧みに利用しながら先制攻撃を国是とする大軍拡に足を踏み込んでいる。

そこには第二の沖縄戦が想定範囲として明確に組み込まれている。国家の安全保障をすべてに優先させることが国政の柱として位置づけられ、経済安保が経済・貿易政策の前提となった。

国際的には、かつて第二次世界大戦の要因となった経済のブロック化が進んでいる。この間までの自由貿易

数挨拶を参照ください

時代は組合員と全労働者の願いを体現した階級的労働運動を求めています。

資本主義体制の行き詰まりがわれわれに闘いの条件を与えている事に確信を持ち、相手の強さをいかに弱さばかさを分析して、その弱みに食い込む運動、相手の出方に電撃的に反撃する体制と実行力。

そのためには仲間に情報公開し、信頼関係を樹立して団結して闘う事が重要です。御用組合的手法は時代遅れである事を自覚し、闘う時

自らが出資し、意見し、働く

近畿労働者協同組合の設立にあたって

脇屋敷清（近畿労働者協同組合専務理事）

2022年10月1日、労働者協同組合法という新しい法律が施行された。

労働者協同組合の特徴は他の協同組合、企業組合、NPO法人と異なる点として、①出資、②意見反映、③従事の三つの原則に従う組織とされたこと。

労働者が自ら組合員として出資し、出資した組合員が自らの意思で意見を反映して事業・経営を行い、協同組合が労働者として自らの事業に従事する事を基本原則とする協同組合だ。

事業内容は、事業協同組合とも異なる労働者派遣事業でもなく、定款に定められているあらゆる事業を可能とする。

判りやすい言えば、労働

戦争への国家総動員に

つながらる食料安保論に

易論がなつかしく思えるほどの様変わりである。

いま経済安保の戦略物資は半導体とその周辺のごくつかの物資が挙げられている程度だが、近いうち食料が国家国民を守る戦略物資として指定されることは間違いない。

このまま書いていると、このことを思い出した。1910年の日韓併合のあと、日本国が行った植民地政策の中でやったことのひとつに日本産米種の作付け強制と土地改良がある。

地域の風土に適合して作られる続けられていた韓国の品種は意図的に引き抜かれた。

こうして生産された日本米は強制的な手段を伴いながら内地日本に運ばれ、安いコメとして労働者階級向けに販売された。このため国内の生産者米価が下落、貧農の困窮が一層強まり、それを救うためと称して満蒙開拓事業が押し進められた。

貧農が中国侵略の先兵として使われていたのである。

日本国家によるアジア侵略戦争のさきがけとなった満州国建設の狙いの一つに大豆があったことはよく知られている。

国内では、戦争遂行のための国家総動員体制が敷かれ、食料は真先に組み込まれた。

青森では田の草取りを後回しにしてリンゴの袋かけを優先した村を警官が急襲、農民を大量検挙する事件があった。

花産地房総では花の種と苗木が焼き捨てさせられた。各地で穀が伐られ、イモ畑に変えさせられた。

このころに生産された日本米は強制的な手段を伴いながら内地日本に運ばれ、安いコメとして労働者階級向けに販売された。このため国内の生産者米価が下落、貧農の困窮が一層強まり、それを救うためと称して満蒙開拓事業が押し進められた。

貧農が中国侵略の先兵として使われていたのである。

日本国家によるアジア侵略戦争のさきがけとなった満州国建設の狙いの一つに大豆があったことはよく知られている。

国内では、戦争遂行のための国家総動員体制が敷かれ、食料は真先に組み込まれた。

青森では田の草取りを後回しにしてリンゴの袋かけを優先した村を警官が急襲、農民を大量検挙する事件があった。

花産地房総では花の種と苗木が焼き捨てさせられた。各地で穀が伐られ、イモ畑に変えさせられた。

このころに生産された日本米は強制的な手段を伴いながら内地日本に運ばれ、安いコメとして労働者階級向けに販売された。このため国内の生産者米価が下落、貧農の困窮が一層強まり、それを救うためと称して満蒙開拓事業が押し進められた。

新年特集 各界から年頭所感

ウサギたちよその糸を切って声を上げよう！

設立した近畿労働者協同組合の活動

昨年10月16日、設立された近畿労働者協同組合（略称、近労協）は、11月1日法人登記が完了し、大阪府知事への届け8日に受理された。

大阪府法務局担当者によれば管内で、登記第一号との事。

主たる事務所を協同会館アンソニエ内に置き、次の事業内容を柱として活動を展開する。

①生コン製造への出資、経営参加労働の提供
②生コン運送業への出資、経営参加労働の提供
③バラセメント、圧送、ダンブ、セメント及び生コン販売各社への出資、経営参加労働の提供
④関係者すべての教育活動の推進を図る
⑤連帯システムとして困難

な仲間への支援を国内外的に行う
⑥その他、この組合の目的を達成するために必要な事業を推進させるべく

近畿労働者協同組合は、これまでの関係支部の歴史的な輝かしい成果をさらに新たな協同組合運動において発展充実させていく事を追求していき。

関係型運動は、支部という闘う統一司令部を設置、企業の枠を超え共通する統一要求を組織して、統一交渉、統一行動、統一交渉を実行する事で幅広い団結体を形成、困難な仲間を物心力、金、集中動員、両面で支援する連帯システムに成り立つ産業別労働運動の典型で、「頼られる、求められる、魅力ある」産業別労組として

ウサギたちよその糸を切って声を上げよう！

西沢江美子（農と暮らし）記者



卯年に赤い糸で口を縫い付けられたウサギたちよその糸を切って声を上げよう！

卯年。ウサギといえは全園あちこちにウサギの民話や伝説があります。

私の人間形成の大きな一助になったのも、ある日ウサギ伝説にまつわる話です。

それは、「ウサギは長い耳を持ち、世界中の音がみんな入ってきた。そのことをあれこれ話したり、危険を知らせたり、悪いことをやめよと叫んだりしています。」

それがらるるる、神様にとっても都合が悪いことをみんなに知らせしてしまうので、神様が怒って赤い糸で口を縫ってしましました。

それからウサギは鳴くことが出来なくなった」といいう話です。

祖母から母に伝わったウサギの話は、家畜としてウサギ、ヒツジ、ヤギ、フトリのエサ担当だった3、4歳の私に受け継がれました。

「ウサギは声が出ないから真先にエサをやりなさい。メエエエ、ギャーギャー」といふものには連れてもいいたよ」といふ母の言葉はずっと生き続けています。

「声を出さない人の代弁者になれ」といふ生き方です。

今年の年賀状でも「卯年、躍進しよう」とか「ウサギのように走る」といふものが多いです。今年で最後の年賀状「こんな暗い夜を考

えていなかったのに、これで賀状欠礼」といった賀状がたぐさありました。

そんな中で一枚の賀状を見つけた。

毎年家族写真をハガキに仕立てて35年、送り続けてくれているある家族のハガキです。

35年前、東京都内のある区の社会教育講座の講師として「海の環境」を持たされた。

山で育った私に海の話は出来ないと、魚せり師の青年の力を借りて、一尾の魚をおろし、料理しながら海を語る講座にしました。

魚をさばく技術を学ぶ楽しさ、魚をさばく楽しさ、その延長で「おーっの会

が誕生。そのメンバーに赤ちゃんを連れて若い夫婦がいました。今年も早々にいただいた賀状は、それから35年目の家族写真でした。

若かった夫婦はしっかりと両親の雰囲気を感じ、そのそばに背がすっと伸びた若者風の長男が立ち、真ん中に制服に身を包んだ凛々しい次男が立っています。

そして優し〜よりそった和服の長女。35年前、不思議なほど大きいタイを前に、必死で危かしく包みを入れ小生だだった次男を思い出しました。

海が好き、魚が大好き、大きくなった船乗りになる。と書いていたあの少年だ。

年賀状は「海を守りたい、魚を守りたい」と書いていた次男の海が戦に使われないために私たちが何かをしなれば」といふようになっていました。

「コロナ禍で、地域で、職場

歴史的大転換期—世界と日本を変える!!

「今問うべき課題は『GSEF』」

GSEF2023年大会(アフリカ・セネガル)のダカール大会に向けて

津田直則(桃山学院大学名誉教授)

①はじめに

GSEF(グローバル社会的経済フォーラム)は、格差社会、社会的排除、環境破壊等に対抗して「社会的経済」を広げていくという2013年の「ソウル宣言」に基づき、2014年のソウルでの第1回大会を出発点として、2年に一度世界各地で開催されている国際会議である。

それは先進国の「社会的経済」を途上国へ広げる「連帯経済」の統合を含めたが、展開されてきた。2002

②GSEFの大会経緯

上述のようにGSEF国際会議の第1回目(2014年)はソウルで開かれた。日本からは100人余りが出席している。筆者も発表に参加したが、日本にはなかった社会的企業法や労働者協同組合法を既に200

7、10年に実現していた韓国の行動力や、協同組合10カ年計画を作成していたソウル市長朴元淳(パク・ウォンスン)のリーダーシップには、多くの日本人が驚いた大会であった。

3年春にはアフリカ・セネガルでのダカール大会が予定されている。ダカール大会を控えたGSEFの意義・課題についてみていこう。

GSEF第2回目大会(2016年)はカタダ・モントリオールで開催された。参加は世界62か国、330の都市、1500人の参加者であり日本からは5件ほどの発表があり、この中には活発な議論の対象となった近畿生コン労働組合・増田幸伸(建設産業に

第3回大会(2018年)はスペイン・ビルバオで開催された。参加は84か国、1700人、発表50団体であった。大会テーマには「ソウル宣言」の継承と「価値と競争性(competitiveness)」というキーワードが入っていたが、日本国内では競争性には違和感をもつ議論の対象になった。競争システムではなく効率性と解釈す

③GSEFの意義

社会的連帯経済は資本主義を超越する次の経済体制になりうるという期待が込められている。欧州では国によっては協同組合だけでGDPの8%、社会的連帯経済全体では10%を超える国も登場しつつある。GSEF国際会議は、社会的連帯経済のもつ価値観が資本主義の価値観よりも優れている点を世界に広める運動が広がっている。社会的経済と連帯経済の合流の大会となったであろう。

第5回大会(2023年5月)はアフリカ・セネガルのダカールで予定されている。プログラムの詳細は未定である。

しかし社会的連帯経済はまだ新たな経済体制の「心」な形の段階であり、解決しなければならぬ諸問題を多く抱えている。特に資本主義を超越する経済体制をめざす場合には、経済体制を構成するシステムの制度的構造を明確にするという重要な課題がある。GSEFのように数日と終わる大会の手法としては、人と人、組織と組織、国と国等のネットワークを重視したワークショップ型発表が優れており高い成果を生むが、この手法は経済体制論の解明に必要な実証・分析・理論化等の方法論とは根本から異なる。後者はやはり研究者や専門学会の仕事である。

しかし双方は互いに補充しあうべき方法であり、今後両者をつなぐ道が模索されるべきであろう。例えば研究者からの成果の一例として、欧州の労働者協同組合を中心とした協同組合体制は、株式会社に対抗できる優れたシステムであると証明した理論がある。それは私が「連帯システム」である(拙著『資本主義を超越する経済体制と文

明』2022年晃洋書房参照)。連帯システムを形成すれば資本主義経済体制は超えることが可能である。このような経済体制論とGSEFのような国際大会を通じての運動を結合すれば、新たな経済体制の形成は、また感性まで奪われ

まき込まれています。海と魚が好きで少年の夢が危機にさらされていることを察知しているこの家族が、また感性まで奪われ

た情報通信革命は、地球の

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

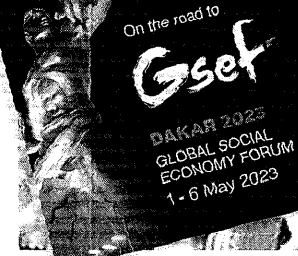
速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち



(2面より) 生の人との付き合いが分断され、いつか感性まで奪われていく間に、「この好機に」と政府と民だけで車拡が、また感性まで奪われ

まき込まれています。海と魚が好きで少年の夢が危機にさらされていることを察知しているこの家族が、また感性まで奪われ

まき込まれています。海と魚が好きで少年の夢が危機にさらされていることを察知しているこの家族が、また感性まで奪われ

まき込まれています。海と魚が好きで少年の夢が危機にさらされていることを察知しているこの家族が、また感性まで奪われ

速度の檻からいかにして脱出するか

—世界危機の根源にあるもの—

斉藤日出治(大阪労働学校学芸員)

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

速度の政治に閉じ込められるわたしたち

新年投稿

憲法の平和主義を踏みにじる「平和国家」から「戦争国家」への転換を許してはなりません

参議院議員 伊波洋一



新春を迎え、沖縄を含め日本とアジアの平和を願う皆様に心から敬意をこめて新年のご挨拶を申し上げます。皆様には第14期沖縄意見広告掲載に向けた取り組みにご協力いただいていることに感謝申し上げます。

私たちは、辺野古埋立ての再開、許さない

私たちは、普天間基地の即時閉鎖・辺野古新基地建設は断念を、米海兵隊は撤退を、「を大きく掲げて取り組んでまいりました。辺野古新基地建設は大浦湾海底に広大な超軟弱地盤と活断層が見つかり、新基地建設工事は困難です。2021年11月25日に玉

安倍政権によって出来上がった日本の対中国戦争に参戦する仕組み

安倍政権が開始した南西諸島への自衛隊ミサイル基地建設は、今年3月に当初計画の奄美大島、沖縄本島、宮古島、石垣島への陸自対艦ミサイル部隊と陸自対空ミサイル部隊等の配備や与那国島の最新偵察基地が揃う予定です。尖閣諸島防衛と言ってきた「南西シフト」が、「台湾有事」への参戦準備であったことが明らかになりました。安倍政権は14年7月1日に「集団的自衛権の行使」が可能とする「解釈改憲」の閣議決定を行い、15年に「安保関連法案(戦争法)」を提出し、同年7月16日に衆院本会議で強行可決し、9月19日に参院本会議で強行可決成立させて16年3月29日に施

共同軍事演習「キーン・ソ」D23はその演習でした。すでに米軍機の飛低空行の演習場で繰り返されてきた訓練や米海兵隊と陸上自衛隊の共同演習「訓練が2年以上前から沖縄や全国各地の演習場で繰り返されてきた訓練や米海兵隊と陸上自衛隊の共同演習「訓練が2年以上前から沖縄や全国各地の演習場で繰り返されてきた訓練や米海兵隊と陸上自衛隊の共同演習」

岸田政権の防衛3文書改訂「敵基地攻撃ミサイル配備 米戦略に沿った「敵」への「宣戦布告」 日本が標的に

岸田政権の防衛3文書改訂「敵基地攻撃ミサイル配備 米戦略に沿った「敵」への「宣戦布告」 日本が標的に



日中平和友好条約を踏まえ「平和主義」を守りぬこう！

今日、日中貿易は我が国の総貿易総量の26.5%を占め、アメリカ14%に次ぐ。我が国の経済活動においても中国は最重要国であり、1978年に締結した日中平和友好条約においても「すべての紛争を平和的手段により解決し及び武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する」としていま

辺野古新基地建設の断念を求める請願署名のお願い

【主催団体】辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議 (共同代表) 稲嶺進 高里鈴代 金城徹 大城紀夫 糸数慶子

「沖縄県民総意の米軍基地からの『負担軽減』を実行して戴きたい」と、41市町村全ての首長、議会議長が署名・捺印し「オスプレイの配備撤回、普天間飛行場の閉鎖・撤去と県内移設断念」を求めた「建白書」が2013年1月、首相に手交されました。あれから10年、県民の総意は実行されていません。辺野古新基地建設(「普天間飛行場代替施設建設事業」)に反対する民意は今も変わることなく、2022年の沖縄県知事選挙で改めて示されました。2019年2月の県民投票でも72%が辺野古埋立てに反対し、今回を含めた3回の知事選挙で県民の意思は一貫しています。(中略)

埋め立て予定の大浦湾側には軟弱地盤があり、政府が工事を続けるには「設計変更承認申請」に知事の承認が必要です。知事は2021年11月、政府の「設計変更承認申請」に対して法に基づき厳正に審査して「不承認」としました。

これに対して政府は、国民のための権利救済を目的とした行政不服審査制度を濫用して2022年4月、不承認を取り消す「裁決」を行いました。現在、県は「不承認」は適法で、「裁決」が違法・無効として、その取り消しを求める訴訟を起しています。

県民が新基地建設に反対するのは、平和に生きる権利として当然であり、民主主義と地方自治の観点からも尊重されるべきです。

県民は、これ以上の基地負担を受け入れることはできません。

署名を通して、沖縄の現状と県民の思いを知って頂くとともに、請願により民意を踏まえた国会論議を実現し、辺野古新基地建設の断念を勝ち取りたいと思います。ご協力よろしくお願ひいたします。

◇請願署名用紙の提出について。お手数ですが、下記まで郵送をお願いします。
〒900-0021 那覇市泉崎2-105-18 官公労共済会館 B1
辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議
◇提出締め切り:2023年3月17日(金)
◇問い合わせ先:オール沖縄会議事務局 福元勇司
TEL 098-894-6407 FAX 098-894-6417

※オール沖縄会議の請願署名の呼びかけを受けて第14期沖縄意見広告運動事務局より署名用紙が届きました。本紙に同封いたしましたので、署名を集め、それぞれで直送していただきますよう、お願いします。——コモンズ編集部

1・27「建白書」10年 日比谷野外音集会

辺野古の海を埋めるな！ 沖縄の民意を日本の民意へ 請願署名を全国に広めよう！

日時 2023年 1月27日(金) 開場18時【〒098-8945】 開始18時30分

会場 日比谷野外音楽堂 集会後、銀座デモ (10年前と同じコース)

沖縄からの訴え 福元勇司 (オール沖縄会議事務局長) 様々な分野で活躍されている方々からのアピール(予定)

主催 ■「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会 HP: <https://humanshain.tohhijp> Email: houshainvoice@protonmail.com

沖縄から始める「東アジア平和」構想への闘い

もはや9条平和憲法破壊なども、とうに踏み越え「敵基地反撃能力」と言いつつ先制武力保有までの軍拡志向にのめり込む岸田内閣。その危険な思惑に真向から反撃の声をあげるのはやはり、平和の要砦である沖縄であり、全国からの識者を始めとする人々の真摯な提言である。

「台湾有事」を口実に、対中戦争参戦への仕組み作りを「岸田政権」

平和構想提言会議 安保3文書対案

「戦争ではなく平和の準備を」

政府・与党による防衛力の抜本的な強化の検討が大詰めを迎える中、NGO関係者や研究者らでつくる「平和構想提言会議」は昨年12月15日、「戦争ではなく平和の準備を」と題する提言を発表した。

政府が16日にも閣議決定する国家安全保障戦略など安保関連3文書の対案と位置付け、軍事力に頼り過ぎずに平和を築く道筋を描いている。提言は「平和の準備を進めるための課題として、中国への「敵視」政策の停止、「攻撃的兵器の不保持」の原則の厳格化、核兵器禁止条約への批准などを挙げた。国境を越えた市民社会の連携が極めて重要だとして、今回の提言を各国語に翻訳して対話や議論を促すことにしている。同会議はこの日、参院議員会館で提言を発表し、オンラインで参加した識者は「議論が圧倒的に足りない。平和の問題を自分たちの手に取り戻さなければいけないのではないか。この文書がきっかけとなり、平和の構築に歩んでいければと強く念じている」と語った。

戦争回避のために、全ての英知と努力を結集する

「軍拡」はわが国の安全を保障しない。「軍縮」こそ平和への真の道筋

戦争ではなく平和の準備を

抑止力で戦争は防げない

2022年12月15日平和構想提言会議「宣言」の概略

軍事費を倍増させるような軍拡が、私たちの安全を保障するのには不十分である。むしろ軍縮こそが、その安全保障のために必要である。戦争の準備ではなく、平和の準備をしなければならぬ。

今年10月、研究者、ジャーナリスト、NGO活動者ら有志が集い、平和構想提言会議を立ち上げた。そして政府が閣議決定しようとしている「国家安全保障戦略」に反対する「平和構想」について議論を重ねてきた。この提言文書はその成果である。この文書が、いま起きている問題の理解を深め、国会議員、政党、政府関係者、研究者、ジャーナリスト、NGO活動者らに活用され、さらなる議論と行動につながることを期待する。

提言の主な内容

- 1. 今何が起きているのか
 - 政府が勝手に憲法を上書きしようとしている
 - 戦争の抑止ではなく、むしろリスクを高めている
 - 東アジアで戦争が起きればどうなるか
 - 際限なき「同盟強化」は世界大戦につながる
 - 2. 「国家安全保障戦略」改定の3つが問題なのか
 - 敵基地攻撃能力/反撃能力
 - 防衛費増倍
 - 核兵器への依存の強化
 - 日米一体で進む臨戦態勢
 - 3. 考え方をどう転換すべきなのか
 - 軍事力が経済・社会・学術を支配する
 - 軍事力中心主義と「抑止力」神話からの脱却
 - 日本国憲法の基本原則に立ち返れ
 - 4. 平和のために何をなすべきか
 - ① 今後の課題
 - ・ 地域安全保障の課題
 - ② 朝鮮半島・日中関係
 - ・ 軍事力の依存しない安全保障のための連携
 - ・ 紛争の要因に対処する社会・経済政策
 - ③ 市民社会の越境と連携の強化

「戦争ではなく平和の準備を」

問われる外交努力

戦争の抑止ではなく、むしろリスクを高めている。安保3文書の改定について政府・与党は、「抑止力を高めるためのものだ」としている。しかし、これらは実際には、戦争のリスクを著しく高めるものである。たしかに、北朝鮮による核ミサイル開発、中国による軍備増強や海洋進出は、日本にとって重大な問題である。だが、それらへの日本の対応策が、「抑止力強化」で済ませようとするのは、北朝鮮は自らのミサイル発射について米韓軍事演習への対抗措置だと主張している。日米韓が軍事的圧力を強

【「平和構想研究会」】※平和構想研究会で検索 「平和構想研究会」は、日本の平和・安全保障政策を総合的に構想し研究する研究者・ジャーナリスト・NGO関係者有志のグループ。代表：川崎哲（NGOピースボート共同代表/ICAN国際運営委員）

特定個人・団体・企業等から独立した特定非営利活動法人 シンクタンク新外交イニシアティブ(ND)加盟メンバーによる提言

政治は戦争を望まなくとも戦争の被害を予測し、それを国民と共有するべきである。それは、防衛のための戦争であっても、戦争を決定する政治の最低限の説明責任であり、それなしに国民に政治の選択を支持させるのは、国民に対する欺瞞行為である。防衛政策の目標は、何よりも、戦禍から国民を守ることにあり、戦禍から国民を守ることは、最大の防衛相手国である。中国であれば、戦争前から日本の交易路を妨害する能力があり、レア・アースなどの輸出禁止や日米企業の資産を凍結するなど、多様な強制手段を持っている。今日の日米関係は、発射の兆候はもとより、飛翔経路を把握することも困難である。この地域を対象に、いすい避難するかを正しく決定することは不可能に近い。長期にわたって住民を避難させれば、経済は崩壊する。問題の本質は、こうした避難策で国民の命を守れるのか、ということである。国民の命を守るためには、戦争そのものを回避しなくてはならない。戦争となれば、海外に資源を依存する日本において、国民生活が成り立たなくなる。

化しているならば、北朝鮮が軍事的挑発を加速させることは必然である。

一方、中国の軍備増強は、米中間の戦略的対立の構図の中で捉えるべきものである。米中両国とも、台湾有事を想定した議論が進み、2021年4月の菅・バイデン会談以降、台湾有事を想定した日米共同作戦計画の策定が進められてきた。例年秋におこなわれる日米共同統合演習(キーン・ソード)では今年、沖縄県内でも初めて与那国島の公道を機動戦闘車が走るなど、まさに有事における戦闘が想定されている。

「抑止力」を高めるという解決策は、一方の平和的緊張を高めておそれ平和的解決は遠く一方である。北朝鮮や中国の意図や動機をみきわめた外交的対応が不可欠である。北朝鮮は自らのミサイル発射について米韓軍事演習への対抗措置だと主張している。日米韓が軍事的圧力を強

台湾周辺の軍事的緊張の高まりは、沖縄に強い危機感をもたらし、武力衝突があれば、最前線になる沖縄が耐えがたい犠牲を被ることになる。

自衛隊がミサイル部隊を配備する石垣島などの離島では、有事に住民を避難させるシェルター建設が取り沙汰されている。

大国間の戦争を防がなければ、国民の安全を維持することはいくらでもできる。大国間の戦争の回避というテーマは、日本が一貫して考えてこなかった課題であり、大国に依存する抑止という思考の枠のなかでは、答えがない課題でもある。その意味で、日本の安全保障は大きな転換点にある。政治の使命である「国民を守る」という原点に立ち返り、戦争を回避するため日本が何をすべきか、してはならないかを論じなければならぬ。(2022年11月)

「国民を守る」「ことこそ政治の使命」「大国に依存する抑止」から「大国間戦争の回避」へ

シンクタンク新外交イニシアティブ(ND)による平和提言



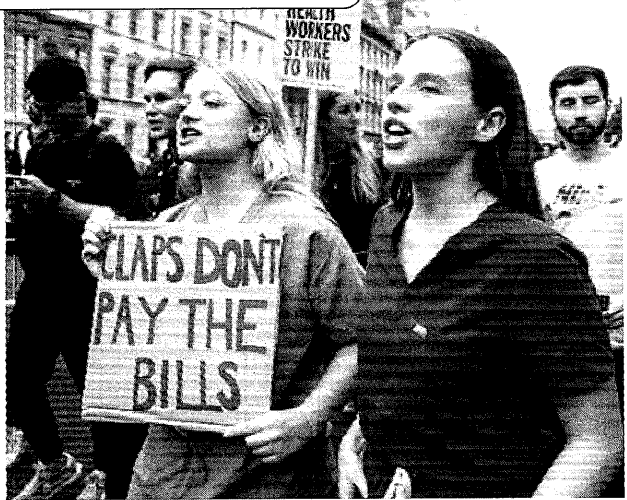
壊れた社会でも尊厳を失わず、日常での抵抗と助け合いを大きな運動へと発展させる

＜司会と進行＞
 鴻上 薫 / コモンズ編集委員。労働組合専従として働いた後、現在労働学校アノシエなど活動に携わる。

＜出席者＞
 森川 健太 / 大学生。東南アジア地域の政治や文化について学んでいる。

宮間 葵 / IT企業で労働組合を結成し2年間に渡り闘うも、今年ついに解雇される。

「医療従事者への拍手ではなく賃上げを」と訴えるイギリスの看護師たち



前職がパレルや航空業界で仕事が無くなった人、地方でテレワークを希望する人、そういふ人が多くいる。

でも大きい会社は採ってくれないので、職歴をつけるためにこんなひどい会社でもとにかか入って耐えて、他の会社が拾っていったら今

米では移民の女性たちが運動の主役。ネパール移民たちによる尊厳を求める集会



米では移民の女性たちが運動の主役。ネパール移民たちによる尊厳を求める集会

「〇〇は発達障害だ」と言っ

「〇〇は発達障害だ」と言っ

宮間：同僚が社長にイジメられていて、一緒に仕事をしながら会社をどう思っているのか聞いたりしているうちに、その人が少しずつ愚痴を言ってくれるようになり、しんどいようだったら組合に相談行ってみませんか、と提案したのが始まりです。他の人にも声をかけ、半年くらい準備して結成しました。

一従業員は何に苦しみ、何に怒っていたのでしょうか。

宮間：一番は社長からのハ

基本は有期雇用で入社するのですが、気に入らない人は雇止めされ、気に入った人は無期転換される。

気に入られるためには、社長の言う事を何でも聞き、深夜の休日の連絡もすぐに返す、他の社員が悪い口にも同調する。

宮間：耐えられず、みんな1年くらいで辞めるので、常に求人を出して新しい人を補充している。

IT業界に転職したい人ってたくさんいるんですよ。

特にコロナになってから、前職がパレルや航空業界で仕事が無くなった人、地方でテレワークを希望する人、そういふ人が多くいる。

宮間：一番はハラスメントの根絶、他は有休取得の制限撤廃、深夜休日の連絡をやめろとか、後は、賞与の一律支給、違法な裁量労働制の廃止、正社員化です。

宮間：一番はハラスメントの根絶、他は有休取得の制限撤廃、深夜休日の連絡をやめろとか、後は、賞与の一律支給、違法な裁量労働制の廃止、正社員化です。

宮間：確かに限界は感じました。上部団体の人に私がどれほ今の状況を伝えども、過去の成功に囚われて「団交は大変なんだ」といって、じゃあ団交で何ができたの？って思っ。

日本の法律上、組合が交渉員が動きながら交渉したり抗議して取ったもの。

今のような組合なら労働組

宮間：まさに日本人ばかり雇うよつになり、私のごとを指導してやろうみたいな人も雇われて、その人たちにほはすべての業務を奪われました。

それでも私が指導を無視していたら結局、指導員たちも数ヶ月で辞めていきました。

一それでついに宮間さんを解雇したんですね。

宮間：はい、雇止めが通達された理由として私がハラスメントをして協調性がなく再三指導しても聞かないからだとわざわざ書いてあった。その後、組合緊急団交を申し入れたので、それがなんと社長は団交に乗らなかった。そのまま交渉もありません。今に至ります。

これからは使えるものはすべて使い、解雇撤回、現職復帰を目標です。

宮間：自分自身を絶えず変えることで労働市場に適用しなればいけないんだ。

自分が変わらなければ、という強迫観念が強い。

発達障害などと言われて、自分の人格や性格がダメじゃないか、逆にそれを改善すれば社会に適用的な人間になれる。そういう考え方に繋がっている。

IT業界みたいな極限まで流動化した雇用の中で生き抜いてきた人が、自分はこうやって頑張ってきた、みんなもそうすれば上手い、なんだと言った時に、どうやって連帯できるんだ、どうして既存の労働組がそうした人たちにそんなに頑張らなくていいとか、その企業の働かせ方は違法だとか指摘するが、それだけ。自分を苦しめてまで頑張らなくても、実際に賃金が上がら、より良い働き方ができることを示さなければ、どういふ人たちに信頼されるか。

森川：そうした経済的な支えとか無しに協力してくださいと言われてもできないです。

今年フィリピンで大統領選があった時も、左派の候補が打ち出したのは「あなたはあなたのままでいい。みんながよいね。」

私はみんなそれをわかってやっていると思ってたけど、どうも違った。

宮間：会社で私を潰そうとしてきた人たちはどうして、た、組員は他の会社でも暴力にさらされてきて、

組合をやる以上会社と敵対するのは避けられない、会社が承認してくれるわけがない。

職場を居場所やアイデンティティにしたい人はたくさんいて、承認されたいと願って、もっと良い所を探さ。

組合をやる以上会社と敵対するのは避けられない、会社が承認してくれるわけがない。

傲慢な社長にやり返す 移民の仲間と組合結成！

組合を一緒に結成してくれただけ、それが許せず反抗を繰り返した末に社長から嫌われた人たち。そういふ人たちが最後の挑戦でやり返そうとなったのがきっかけです。

森川：どんな暴言があったのですか。

宮間：質問した従業員に対して「俺はベビシッターじゃないんだから自分で考えろ」とか「仕事が終わらないと週末なんてない」とか、「〇〇は発達障害だ」と言っ

「〇〇は発達障害だ」と言っ

「〇〇は発達障害だ」と言っ

宮間：自分のバイト先の飲食店にも移民労働者がすごく多くて、英語も日本語もできない人たちがいて、どう対応したらいいんだろうって経営側から料理の作り方を習ってひたすら調理作業だけをやるような働き方を、移民の人たちと協力して要求を通していくつもりです。

宮間：自分のバイト先の飲食店にも移民労働者がすごく多くて、英語も日本語もできない人たちがいて、どう対応したらいいんだろうって経営側から料理の作り方を習ってひたすら調理作業だけをやるような働き方を、移民の人たちと協力して要求を通していくつもりです。

宮間：自分のバイト先の飲食店にも移民労働者がすごく多くて、英語も日本語もできない人たちがいて、どう対応したらいいんだろうって経営側から料理の作り方を習ってひたすら調理作業だけをやるような働き方を、移民の人たちと協力して要求を通していくつもりです。

宮間：自分のバイト先の飲食店にも移民労働者がすごく多くて、英語も日本語もできない人たちがいて、どう対応したらいいんだろうって経営側から料理の作り方を習ってひたすら調理作業だけをやるような働き方を、移民の人たちと協力して要求を通していくつもりです。

宮間：自分のバイト先の飲食店にも移民労働者がすごく多くて、英語も日本語もできない人たちがいて、どう対応したらいいんだろうって経営側から料理の作り方を習ってひたすら調理作業だけをやるような働き方を、移民の人たちと協力して要求を通していくつもりです。



鴻上：本日の座談会の二つのテーマは「新しい労働運動の創造に向けて」です。米アマゾンやスタバにおける若者たちの反乱、英国での史上最大規模の看護師のストなど、今や世界的に労働運動が盛り上がりを見せています。ところが日本は衰退の途を辿っている。今回はそんな日本で未来に向けて何ができるかを話し合いたい。もう一つのテーマは、反戦・平和運動についてです。

早速ですが、外国籍の人たちを組織してIT企業で様々な権利を勝ち取ってきた宮間さんに参加いただいています。この8月、組合の攻勢に会社は耐えきれなくなり、ついに宮間さんを解雇したとのことですが、まずは、どんな経緯で組合を結成したのかお聞かせください。

森川：会社は変わりました。宮間：有休が自由に取れるようになり、墨言もほほほなくなり、雇止めもこの2年で私だけ。

時間外の返金はなくなっていいと組合で会社で合意したので、深夜休日の連絡も減り、夏と冬に賞与を一律で出させ、夏季休暇も取り戻しました。

森川：自分のバイト先の飲食店にも移民労働者がすごく多くて、英語も日本語もできない人たちがいて、どう対応したらいいんだろうって経営側から料理の作り方を習ってひたすら調理作業だけをやるような働き方を、移民の人たちと協力して要求を通していくつもりです。

宮間：私の職場にも英語も日本語も不自由、祖国の家族に仕送りしている人たちがいますが、会社は仕事を握られているから怖いと人たちは組合には入ってこなかった。

結局、配属先のある人や先進諸国から来ていっでも帰れる人しか残らなかった。

本間に組合を必要としていたのは、森川さんの言うていたような人たちのこと。ただ、組合があることで社長もそうした人たちに手を出しづらくなったはず。さすがに

宮間：私の職場にも英語も日本語も不自由、祖国の家族に仕送りしている人たちがいますが、会社は仕事を握られているから怖いと人たちは組合には入ってこなかった。

結局、配属先のある人や先進諸国から来ていっでも帰れる人しか残らなかった。

本間に組合を必要としていたのは、森川さんの言うていたような人たちのこと。ただ、組合があることで社長もそうした人たちに手を出しづらくなったはず。さすがに

宮間：私の職場にも英語も日本語も不自由、祖国の家族に仕送りしている人たちがいますが、会社は仕事を握られているから怖いと人たちは組合には入ってこなかった。

結局、配属先のある人や先進諸国から来ていっでも帰れる人しか残らなかった。

本間に組合を必要としていたのは、森川さんの言うていたような人たちのこと。ただ、組合があることで社長もそうした人たちに手を出しづらくなったはず。さすがに

宮間：私の職場にも英語も日本語も不自由、祖国の家族に仕送りしている人たちがいますが、会社は仕事を握られているから怖いと人たちは組合には入ってこなかった。

結局、配属先のある人や先進諸国から来ていっでも帰れる人しか残らなかった。

本間に組合を必要としていたのは、森川さんの言うていたような人たちのこと。ただ、組合があることで社長もそうした人たちに手を出しづらくなったはず。さすがに

宮間：私の職場にも英語も日本語も不自由、祖国の家族に仕送りしている人たちがいますが、会社は仕事を握られているから怖いと人たちは組合には入ってこなかった。

結局、配属先のある人や先進諸国から来ていっでも帰れる人しか残らなかった。

本間に組合を必要としていたのは、森川さんの言うていたような人たちのこと。ただ、組合があることで社長もそうした人たちに手を出しづらくなったはず。さすがに

宮間：私の職場にも英語も日本語も不自由、祖国の家族に仕送りしている人たちがいますが、会社は仕事を握られているから怖いと人たちは組合には入ってこなかった。

結局、配属先のある人や先進諸国から来ていっでも帰れる人しか残らなかった。

本間に組合を必要としていたのは、森川さんの言うていたような人たちのこと。ただ、組合があることで社長もそうした人たちに手を出しづらくなったはず。さすがに

